

の ざと しょう がっ こう 野里小学校

所在地	〒555-0024 西淀川区野里2丁目21番13号
電話	06-6472-0301
HPアドレス	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e631361
校長名	田崎 正幸
児童数・学級数	200名・11学級（特別支援学級4）
標準服	あり



学校概要

大正9年(1920年)に香簀第二小学校として開校されましたが、それより40年前の明治7年(1874年)から西成郡第五区第六番野里小学としての学校がありました。そのころの野里は、住吉神社を中心に、150軒ほどの家が集まった村でした。村のまわりは、見渡す限りの田畑で、はるか向こうに六甲山や大阪湾がよく見えたそうです。また、昭和の初めごろには神社の北西にあった学校を現在の場所にゴロゴロと引っ張って行って立てたそうです。その後、どの子もすすくとよい子に育つように、講堂を建て力を合わせて学校を大事にされながら現在に至っています。まさに「野里の町の学校」であり、令和2(2020)年に創立100周年を迎え、令和6(2024)年に校舎改築が完成しました。本校では、地域・PTAとの話し合いの上で、ブラウン系の標準服を使用しています。

1 全国学力・学習状況調査の結果及び概要（令和7年度 6年生の調査結果）

	国語 正答率	国語 無回答率	算数 正答率	算数 無回答率	理科 正答率	理科 無回答率
学校	67.0%	0.5%	54.0%	60.0%	60.0%	0.4%

令和7年度の全国学力・学習状況調査では、国語科の平均正答率は全国平均が66.8%に対して本校は67%と、0.2%全国平均より上回っている。算数科では全国の平均正答率は58%に対して本校平均正答率は54%と、4%下回っている。理科では全国の平均は57.1%に対して本校では60%と2.9%上回っている。平均無回答率では、本校の国語科では0.5%（全国平均3.3%）、算数科では1.2%（全国平均3.6%）理科では0.4%（全国平均2.8%）であり、粘り強く最後まで回答に取り組んでいる様子がうかがえる。

2 全国体力・運動能力などの結果および概要等（令和7年度 5年生の調査結果）

	種目別平均								
	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点 (点)
男子	14.57	15.50	38.35	42.29	34.05	10.01	139.19	19.62	49.16
女子	14.27	17.31	41.24	40.38	32.47	9.99	138.63	11.65	53.33

校舎改修の影響が残り、児童の基礎的な体力が低いことが課題である。本校の児童は、男女ともに体力・運動能力が全国平均を下回っている。特に令和6年度に引き続き、ソフトボール投げの記録が男女ともに低くなっており、改善していく必要がある。

しかし、「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的な回答をした割合は男が76.2%、女子が70.6%と、全国平均よりも高い結果となっている。（全国：男子=72.7%、女子=54.1%）

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が21.1%、女子は11.8%となっており、男子の運動時間の短さが顕著に表れている。（全国：男子=9.8%、女子=17.3%）

3 令和8年度の学級・児童数

令和8年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数	30	33	27	33	36	41	200
学級数	1	1	1	1	1	2	7

教育目標

「豊かな人間性を育み、正しく仲よくたくましく生きぬく子どもを育てる」を学校教育目標に掲げ、教職員が一丸となって教育活動をしている。「一生懸命考える子、心豊かな子、元気な子、仲間を大切にする子、気持ちよくあいさつする子」を育て、子どもたちのもっている「力」や一人一人のよさ、可能性を伸ばし、豊かな人間性を育む教育活動を展開している。

また、「自分の考えや思いを自分のことばで話すことができる」子どもを育成するため、学習全般を通して話し合い活動の充実を図り、「聞く力、話す力」や表現力を高めることを目標に取り組んできた。

令和8年度は国語科の研究の2年次として、「『書くこと』で自ら学びを広げ深める国語科学習指導～文学的な文章の実践を例にして」を研究主題として、研究を進める。話し合う力を前提として、書くことで自分の思いを明確に伝えられる子どもの育成として、実践を進める。今後さらに、望ましい人間関係の構築に向けて、めまぐるしく変化する社会の中で、子どもたちがこれから「生きぬく力」を身につけ、成長してほしいと願っている。

○野里小のめざす子ども像

① 野のように広い心をもつ子 ② 雑草のようにたくましい子 ③ 友だちを大切にする子

○学校運営に関する計画（令和8年度 本校の年度目標）

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気が付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を82%以上にする。

小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、おなじくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。

時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員を0にする。

学校の特徴や取り組み

本校では、授業において「見通し・振り返り学習活動」を柱とし、継続的に指導・支援・助言を積み重ねることで学力向上に努め、意欲をもって学習できることを目標としている。また、学習活動に話し合い活動を取り入れることで、「自分の考えや思いを自分のことばで話すことができる」児童の育成をめざしている。

この目標のもと、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいる。さらに、「話す力、聞く力」を身につけ言語力の育成を図ることで、自分の考えを具体的に組み立てる力を身につけさせたいと考える。

また、表現活動を高める学習では、一人一人に書く力・表現する力が身につくよう指導している。教職員は、個々の児童が学習のどの部分に課題があるのかを把握したり、その課題解決のためにどのような手立てが効果的なのかを吟味したりすることで、児童にとって最適な学習方法を工夫している。



「入学式」

小学校生活のスタート



「リーダーシップの発揮」

異年齢集団「たてわり班活動」



「全校オリエンテーリング」

異年齢集団「たてわり班活動」



「めあてをもって学習活動」

見通し・振り返り学習

◆保護者・地域みなさまの声

「の」「ぞ」「と」の子を地域全員で、歴史と伝統あるこの野里小学校で、ともに健やかに育てていきましょう。